ころが、横浜能楽堂のご協力に

いという事態となりました。と 能楽大会」を中止せざるを得な 予定していた「第35回横浜五流



高秀秀信

横浜能楽連盟

会報 No.59

令和2年3月31日

(1953) 年11月、

「横浜で毎

昭 和 28

# 

### 洋

倖でした。一方、自然が相手と ことは残念至極です。 なり、涙を飲んだ方がおられた は言え、日程変更で出演困難と 進されてきた会員の皆様への天 能楽堂での代替開催はこの上な からのプレゼントとも言える僥 い幸福であり、 できました。稼働率が高い横浜 より11月16日に開催することが 大会に向けて精

受け継いでいるのです。 えますが、我々は他にも宝物を 盟」を結成しました。その後、「横 継承・発展に尽くそうと立ち上 和23(1948)年、戦災復興途 る連盟自体がもちろん宝物と言 に至っています。 浜能楽連盟」と名称を変え、 がった方々が「横浜能楽謡曲連 上の横浜において、能楽の復興 には五つの宝物があります。 さて本題です。横浜能楽連盟 五流が加盟す

時代となるよう改めて願うばか にお見舞いを申し上げ、平穏な

りです。

横浜能楽連盟も台風19号にま

<sup>\*</sup>直撃、され、10月12日に

関東を直撃して甚大な被害をも

には猛烈な台風が2度にわたり した。その願いもむなしく、秋 しい」という声が多く聞かれま

たらしました。被災された方々

害のない平和な時代になってほ

令和元年を迎えた昨年は

走して横浜市に建設を働きか 復活開催して以来、現在まで連 民からの署名・寄付集めに奔 綿と続き、今年36回目を迎えま (1996) 年に開館しました。

楽愛好者拡大を目指して創設さ 横浜能楽堂の活用と、一層の能 い」。 平成10 四つ目は「五流交流のつど (1998)年に、

職分の力を借りなければ上演で

との共催事業になっています。 年、五流宗家の演能を」との思 在は横浜能楽堂が主管し、 力のもと一年も欠かさず継続 宗家・横浜市・そして連盟の協 いで創設した横浜能は、 二つ目は「横浜能楽堂」。市 今年68回目を迎えます。 念願叶って平成8 五流の 現

せたそうで、第12回大会には開 を与えたい」との思いで復活さ 素人にも本舞台で発表する機会 つことができました。 館したばかりの夢の本舞台に立 す。「能楽堂建設が実現したら、 三つ目は「横浜五流能楽大 昭和62 (1987) 年に

ます。準備に長い期間を要し、 能などへの補助金を支出してい 寄付金などを基金として、 横浜能を主催した当時の収益や 五つ目は 能楽振 興基金」。

> す。やりたいという方がおられ ア・マスイさんと堀内万紗子さ 立6周年記念事業)、パトリシ の「鉢木」(平成17年)、子供能 後押ししようという趣旨です。 きない素人能などへの挑戦を、 対して補助をした記録がありま 今までに鵜池昭吾さん 人」(平成21年)などの上演に ん(観世流梅若会)の「吉野天 「九頭竜」(平成20年・ 連盟創 れば、応援する用意が連盟には

胸に刻む次第です。 思うとともに、次代への継承を 振興に役立ててまいります。 用も、能楽振興の一環としてこ あるということです。横浜能楽 からもこの基金を能楽の普及 の基金から支出しました。これ 連盟ホームページの立ち上げ費 これら五つの宝物を持つ我々 誠に恵まれていると改めて

回五流能楽大会」 報告

観世流梅若会

桑原

弥兵衛

りました。

番で、出演者数は延べ305名 番組総数は、素謡12・連吟11 能楽大会」が開催されました。 浜能楽堂において「第35回五流 でした。 仕舞15・独吟5・舞囃子1の44 令和元年11月16日 土、 横

梅若会)·仕舞2番 連吟4番(喜多・金剛・金春 ながら、下懸宝生流は休演とな の各流派が熱演しました。残念 五流競演曲は「松風キリ」で (宝生·観世

とは言え、観客の皆様や出演さ 4曲ほど変更になり、 あったとお察しいたします。ま は初めてのことで、不測の事態 期して開催いたしました。これ 響により、期日を1か月ほど延 た、延期により番組中の演目が れた各流派の方々にはお詫び申 しても、役員の方々のご苦労が 今回の大会は、台風19号の影 順延を決めるに際 出演者の

# ◎第36回五流能楽大会

令和2年10月17日(土)午前9時45分開始令和2年10月17日(土)午前9時45分開始

校正・配布等、倉藤理事にすっ

かりお手伝いいただき、

ありが

坳

中が1件あったため、 中がありましたが、休演した社 と思います。 社中の役の方などは忙しかった 出入りも変わりましたので、各 す。1件かなりオーバーした社 は午後5時18分に終了いたしま いたい守っていただけたようで 今回、各社中の持ち時間はだ 最終的に

場がとても盛り上がったように 囃子「吉野天人」の演技に、 感じました。 なお、番組の作成においては 今回の大会では、白謡会 が出演してくださった舞 会

した。





手伝いいただきました。 によって、無事終了いたしまし の理事及び会員の皆様のご協力 たこと、御礼申し上げます。 最後になりましたが、各流派

### 舞囃 能

観世流

「吉野天人」

で

ワンチーム 尾崎

い曲です。 満開の桜を愛でる華やかで美 ある曲目だそうで、 で観世流と観世流梅若会にだけ 「吉野天人」は、五流の中 春の吉野の

ものです。 掛りで舞う特殊演出(小書)の のが、舞囃子「吉野天人」。そ 会」の参加番組として提案した を承り、 れも、天人が5人、本舞台と橋 た。そこで、秋の「五流能楽大 盛り上げていきたいと思いまし 昨春、私は能楽連盟の新理事 微力ながら五流の会を

大変有り難いことでした。 指導をしてくださいましたのは ご同意いただき、全体の演出や にご相談しましたところ、 私の所属する白謡会の主宰者 快く

4人、舞手の5人、そして地謡 笛・大鼓・小鼓・太鼓の囃子方 が、まず、 でも結構大変でした。 と、総勢14人にお願いするだけ の手配をする責を任されました 私は、世話人としてこの番組 アマチュアばかりで

も東奔西走(!)しました。 になり、これを5枚揃えるのに 手の袴を赤にしようということ 華やかな舞台効果を考え、 いざ取り掛かってみると、 私

以前に、事情の違う 子や地謡の方達も各 合って、時間を見つ でもお互いに折り るのが、とても難し 個々の気持ちを揃え 舞は、型を合わせる を含め5人でする相 でくださいました。 自熱心に研鑚を積ん した。その間にお囃 けては練習を重ねま いことでした。それ

揃っての申合せを行 舞台を借りて全員 い、これなら本番ま 前の9月26日に そして、 横浜能楽堂の本 本番2週

応えも得られました。 でに何とかなりそうだという手

がした程です。 会中止の連絡を受けた時、 19号が関東を直撃。 チベーションも高まってきたと いう矢先に…。10月12日、台風 瞬体が崩れ落ちるような思 こうした緊張感の中、 五流能楽大 皆のモ 私は

受けてくださる方が見つかった 波が襲ったのです。 至難の業だったからです。引き 能となり、その代役を探すのが よって、地頭と小鼓が出演不可 したが、実はここで苦難の第二 幸い11月16日に延期となりま 日時変更に

時、 感極まりました。 地獄で仏とはこのことかと

なりました。 皆一同に楽しかったと思いま 野天人」で味わうことができ、 ム」。その醍醐味を舞囃子「吉 の得られた舞台となりました。 精一杯の力を発揮した結果、ア が自分の持ち場を全うしようと た分、さらに喜びの多い経験と マチュアなりに、とても充足感 す。そして私は、苦難が大きかっ 能楽のお稽古自体は個人的で 当日は快晴。 舞台はまさに、「ワンチー 出演者一人一人

にとってはすべてが夢の世界で 義太夫の声、鳴物の音など、私

た。大きくなったら「お芝居

が4.5歳の頃の記憶です。 です。今から70年以上も前、 屋さん」になろうと思ったもの

私

### 謡 曲

との出会い

やかな舞台、きらびやかな衣装、 ぐの何もない時代ですから、華 かれて見に行きました。戦後す 座が来ると、近郷近在から大勢 沿いの町です。子供の頃、 りました。年に数回旅回りの一 浦島座」という芝居小屋があ 南、農村地帯に囲まれた街道 の大盛況。私も祖母に手を引 人が集まり、客席は大入り満 私の出身地は、熊本県熊本市 宝生流 河西

部活には来なくてもいいから、 部室から出てきた人につかまっ という名が目に留まり、 分の所属部があと1名入らなけ てしまったのです。 きました。ちょうどその時隣の 介で真っ先に「歌舞伎研究会 入学しました。最初のクラブ紹 人助けと思って名前だけ貸して く入部しようと部室の前まで行 時が過ぎ、私は東京の学校に ば存続できない危機にある。 い」と懇願します。 いたクラブが 「人助け」ならばと 彼女は「自 「宝生流 さっそ

> りを見ると、この小さな町にも 0) 所の魚屋さんなどは商売そっち 謡曲の愛好者が当時は多く、 能楽研究会」でした。それまで んに叱られていました。 能など見たことも聴いたことも けの謡曲三昧で、 いつも奥さ

です。 多く、 と聞いたことがあります。母の ちらは金春流です。城主の松井 ずれも、大正・昭和の名人たち 先生のことかと思われます。 年齢から推察すると、桜間弓川 がいて、乞われて上京された」 れていました。母から「近所に のお殿様も、ご自身で能を舞わ 先輩であることを最近知りまし 生先生のお父様のお弟子さんで た。亡母は八代市の出身で、 のご出身で、 したし、友枝喜久男先生も熊本 - 金太郎さん」という上手な方 総じて熊本市は喜多流の方が 私のお花の先生は塩津哲 光栄にも高校の大 Vi

ためならず」。 おります。 ためと始めた謡曲ですが、謡友 縁かと思います。「人助け」の すっかり老後の楽しみになって の皆様にも支えられ、 者になりましたのも、何かのご 違いますがこうして謡曲の愛好 そんな土地に生まれ、 まさに 情けは人の 今では 流儀は

### 謡 羅 生門」を稽古 喜多流 保木 して

行こう。 住んで、 …」それでは、鬼神を退治しに 「九条の羅生門にこそ鬼神の 暮るれば人を通さぬ由

と思った。 羅生門」とは、 稽古を終えて、 何なのだろう さて「鬼神

ところで、

「鬼」「屍」

は、

られているので、能の「羅生門 ある。今昔物語は平安末期に作 と思いて…。』とある。 今昔物語を参考にしたのかも これを見るに、心を得ねば、「こ をかなぐり抜き取るなり。 るあり。その枕上にて死人の髣 を見る盗人の語」には『盗人、「怪 18 「羅生門の上層に登りて死人 龍之介の『羅生門』(ちくま文 れない。 の作者(観世小次郎信光)は、 が住むと考えられていた、とも れはもし鬼にやあらむ」と思い れば、若き女の、死にて臥した し」と思いて連子よりのぞきけ 庫)付録の『今昔物語』 にてもぞある、おどして試みむ ておそろしけれども「もし死人 初めに |鬼神」である。 羅生門には鬼袖 解説に

之介の は、六分の恐怖と四分の好奇心 とに動かされて、 『羅生門』では、『下人 暫時は呼吸を である。

な衣装や質素・簡略化した作り

説明に加えて、

シテの絢爛豪華

鏡板と橋掛かりの能舞台に、笛

どの曲目でも存在する松の

南門で、平安末期には荒廃して 記者の語を借りれば、「頭身の するのさえ忘れていた。 いたのであろう。 る…。』とある。羅生門は都の 毛も太る」ように感じたのであ の、大雨のシーンを思い出させ 映画「羅生門 旧記の

化や核家族化が進むと、「鬼 地域や寺でたくさんの人がかか また、死も身近にあり、 供のころは「鬼ごっこ」をした 現在はその感覚に相当「マヒ り、能などの伝統芸能の中でし や「死」が身の周りから遠くな わった。ところが、急速に都会 をした。獅子舞などもあった。 していると感じる。 か身近に感じなくなった。私も し、「鬼は外福は内」と豆まき つては私達の身近にあった。

葬儀も

の鬼を小さくしていきたいと とによって、少しでも自分の中 くさんの人が、私の鬼を見てい とは言われなくても、 る。その鬼は、自分では見えな るのだ。さて、困ったものであ みると、自分自身の心の中にい にいるのか。あらためて考えて い。だから、他人から「おに るということなのだろう。 これからも、 それでは、鬼はいったいどこ 謡を稽古するこ たぶんた

### 素人のつぶやき(その三) 金剛流 大嶋 一晃

と言われます 西洋音楽のオペラに例えられる A ... 日 本の古典芸能「能」 は、

要素になっていると思います。 を説明する「語り」に意味があ 式的には似ている様ですね。 があり、物語を演じる処は、 B:主役 (シテ)、 家の表情が見えないラジオで のは何と言っても落語で、 B:「語り」の芸能で最たるも 美しい日本語で情景や物語の筋 鑑賞と言うより、 返しが比較的単純で、 の数種の笛筋とその変形の繰り る「舞囃子」の演奏は、 だけの演奏鑑賞もあります。 や歌劇を外した、オーケスト C:オペラからバレリーナの舞 謡)、オーケストラ(囃子方) バックグランドコーラス(地 A:能の場合、 い浮かべて楽しんでいます。 人物像や情景を目の当たりに思 り、謡の古典語の理解が重要な 一方、能で主要な部分と言われ 一語り」を聞くだけで、聴衆は 謡い語りによる 脇役 役者や地謡が 能は音楽 (ワキ)、 囃子方 形

葉による情景説明が無くてはな

連盟後援行事

能楽堂本舞台 8月23日

(日)

横浜能楽堂第二舞台

第34回神奈川県宝生流謡曲大会」4月19日

幻するリズムから醸し出される 刺激して、観客を独特の雰囲気 独特の雰囲気が、視覚・聴覚を に誘い込んでいるように思われ

きの深みを感じます。 手の動きで、喜怒哀楽が伝わっ 面の上向き下向きや立ち座り・ 歌劇ほど大げさでなく、 B: さらにシテの所作が重要で てくる演技が何とも言えず奥行 歌舞伎や文楽・新劇・宝塚 僅かな

> 表に独自の情景を映し出して、 らぬものです。観客はこの「語 想像の世界でしょう。 り」によって、 や知識に基づいた感性に基づく 情景は、それぞれ各個人の経験 観客がその脳裏に思い浮かべる 観劇に溶け込むと思われます。 無機質な舞台の

に感じて秘かに涙ぐむ方もいれ オる「シテ」を観て、愛する我 例えば、「隅田川」で座してシ が子の死を悟った母親の悲しみ

C:さらに謡の拍子や調子と言

能 楽 堂

だ

ょ n

> ば、 らっしゃるなど、 様々でしょう。 いの段後は長く座したままのシ 何回もこの能を観られ、 退屈だと評する方もい

とは、 では、 り知ることのできない事」とあ 映して、様々な感傷に浸ること 自の映像を脳裏のスクリーンに の世界に誘い込んで、人々が独 A:広辞苑によると、「幽 正に想像の世界です。 「奥深く微妙で容易に計 観客を幽玄の世界・想像 演能 玄

人々の想像は 狂 情移入はせず、謡本通り謡うこ C:従って謡い手は、余分な感 を許していると思います。

朗読が流れることを期待して、 うまくいくとラジオで「謡」の 聞き易い発声方法により とが肝心と思われます。 興味深く見守っています。 イしている」との報告があり、 を原文のまま朗読する事にトラ B:最近、ある流友が、 朗読の 「謡本

# 令和2年4月~9月の公演案内

令和2年4月~9月までの横浜能楽堂の公演 ぜひお運びください。

予定は次の通りです。

S席四千円/A席三千五百円/B席三千 6月6日(土)午後2時開演 狂言「見物左衛門 第68回横浜能 ▽チケット発売…3月14日(土)より (喜多流) 中村邦生 深草祭」(和泉流 野村 円 萬

特別普及公演「家×家 交流狂言 【第一日】6月27日(土)午後2時開演 「横浜狂言堂」 150回記念 「朝比奈」野村万蔵 「月見座頭」山本東次郎

> 開催。 狂言 ※普及公演「横浜狂言堂」は、毎月第2日曜日 全席指定二千二百円 狂言「武悪」野村万作 ▽チケット発売…4月18日 (土) より 【第二日】7月5日 「八尾」茂山千五郎 狂言2曲を解説付きでお送りしています。 (H) 午後2時開

窓口販売は翌日からとなります。 で10時~11時30分、電話予約は正午より。 ※なお、チケット発売の初日はWEB予約先行 どうぞお楽しみに。 行く 歌枕の旅」(全5回) 横浜能楽堂☎045 (263) 3055 ◇令和2年度後半は、 企画公演「馬場あき子と を開催いたします。

### 編集後記▲

させていただくことにしまし と夢を膨らませています。 でもらえたら、また外国の方々 を実施していくことで、 横浜能楽連盟でも、 催されます。ここ横浜にも様々 今年は東京でオリンピックも開 た。その分、レイアウトをゆっ いしていた原稿を年1回ずつに にも能を楽しんでもらえたら、 たちがもっと気軽に能に親しん な変化が起こることでしょう。 元号が「令和」と新しくなり、 ていきたいと考えております。 たりさせ、また写真等を多用 て、読みやすく楽しい誌面にし 今号より、 毎号各流派にお願 様々な試み 若い人  $(F \cdot Y)$ 

### 横浜能楽連盟ホームページ

アドレス(https://yokohama-nohgakurenmei.jp/)

連盟の紹介・行事案内・公演予定・幽玄バックナンバーなど、 ぜひ一度開いてみて < な情報がご覧いただけます。 なお、連盟加盟団体の方は「お問合せ」フォームからご連絡いただければ、 大会情報などを掲載いたします。

## 「横浜宝生流連合会第33回謡曲大会」8月22日(土)、宝生流謡曲大会」4月19日(日)横浜能楽堂本舞台 横浜能楽堂本舞台 横浜能楽堂本舞台/ 「第12回よこはま能の会」(観世梅若会) 7月17日 「横浜金剛流第22回謡曲と仕舞のつどい彫の会」(観世梅若会)7月17日(日)横浜

TEL

〇四五-八三五-二三六一

◎事務局

倉藤

横浜能楽連盟連絡先